

2017年12月22日

ゲノム編集を用いた育種の進展と今後の展望  
(講演会のご案内)

2013年に開発された人工ヌクレアーゼ、「CRISPR/Cas9」の登場以来、生物のゲノム上の任意の場所に変異を導入することのできる「ゲノム編集」技術の進展は、世界各地で急加速し、さまざまな研究開発成果が生み出されるようになってきました。我が国においても、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」の枠組みの下で研究開発が強力に推進され、ゲノム編集技術を用いて改変・改良された作物や魚が次々と生み出されようとしています。

このような背景の下、このたび下記のような内容でゲノム編集に関する講演会を開催することといたしました。ゲノム編集を用いることで可能になった優れた特性や機能性の付与、育種期間の大幅な短縮など、研究開発の現時点の到達点をご説明するとともに、ゲノム編集をめぐる知的財産権(基本特許など)や環境・食品等に係る規制をめぐる最新の情報もご紹介する予定です。

記

日時：平成30年1月16日(火) 13:30～16:30

場所：共同通信会館5階A+B会議室(東京都港区虎ノ門2-2-5)

内容：

1. 「SIP 新たな育種体系の確立」におけるゲノム編集作物等の研究開発の状況  
(筑波大学 江面浩 教授)
2. ゲノム編集技術に関する最新知財動向  
(平木国際特許事務所 塚原優子 弁理士)
3. ゲノム編集など新たな育種技術をめぐる規制動向  
(名古屋大学 立川雅司 教授)

主催：次世代育種技術研究開発プラットフォーム

共催：公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会  
NBT実用化戦略会議  
新品種産業化研究会

参加費：無料

参加申込み：次のホームページからお申し込み下さい。会場(定員80名)が満席となり次第、受付を終了させていただきます。

<http://www.jataff.jp>

【事務局】公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会  
イノベーション事業部 永田、鶴戸口、田淵  
TEL: 03-3586-8644 FAX: 03-3586-8277

## アクセス

銀座線	溜池山王駅 9番出口	徒歩4分
南北線	溜池山王駅 9番出口	徒歩4分
銀座線	虎ノ門駅 3番出口	徒歩6分
丸の内線	国会議事堂前駅 3番出口	徒歩7分
千代田線	国会議事堂前駅 3番出口	徒歩7分
住所	東京都港区虎ノ門2-2-5	
電話	03-5573-8934	
FAX	03-5573-8109	

